

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)～(8)の要点等を具体的に記述する。
 なお、要求図面では表せない部分についても記述する。また、要求図面では表せない事項についても記述する。
 また、(1)、(3)及び(5)については、必ず【イメージ図記入欄】に、平面図、断面図、イラスト等により当該計画に対する考え方等を示したうえで、当該要点等を記述する。

(1) 居住部門の個室の計画において、「入居の住みやすさ」及び「介護のしやすさ」について考慮したこと

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】	入居者の住みやすさ:

(2) 居住部門及び居宅サービス部門のスタッフルーム等介護に必要な諸室の配置について考慮したこと

(3) 共同生活室及びディールームについて、自然光を取り込みつつ、冷房時の負荷抑制を図るために、建築計画において工夫したこと【Low-Eガラスを使用する工夫を除く。】

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】	

(4) 建築物の構造計画について、建築物の特性に応じて採用した構造種別・耐震計算ルート
 (採用したルートを○で囲む。)とそれらを採用するに当たり、耐震性を確保するために考慮したこと

構造種別:
耐震計算ルート: ルート1 ・ ルート2 ・ ルート3 ・ その他()
考慮したこと:

(5) 車寄せの屋根・庇等となる部分の寸法、有効高さ及び車寄せの屋根・庇等の構造計画(各種寸法、部材の材質、支持方法及び耐震性等)について考慮したこと

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】	車寄せの屋根・庇等となる部分の寸法(mm)
	(長辺×短辺×厚さ):
	有効高さ(mm):
	構造計画について考慮したこと:

(6) 地域条件や経済性を踏まえた、支持層の考え方、採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて考慮したこと

(7) インフルエンザやノロウイルスへの対策について、建築計画や設備計画において考慮したこと

(8) 高齢者介護施設としての空調方式について、採用した空調方式とその理由
